

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年5月6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970800144
法人名	社会福祉法人 合歓木の会
事業所名	グループホーム 第二日紅の家
所在地	〒787-0310 高知県土佐清水市グリーンハイツ20-21
自己評価作成日	平成21年11月25日
評価結果市町村受理日	平成22年5月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970800144&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームは、ご入居者を親、祖父母として家族同様にいたり、地域の皆さんとの触れ合いも大切に、ご入所者の残存能力を發揮できるよう見守り支援をしています。また、近くに法人の幼稚園があり、ひ孫の世代の子ども達と日常的に交流しています。広い庭には、花木を植えて季節感を大切に、ご入居者には、ゆったり、のんびり、くつろいでいただける環境にあります。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年12月17日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、近くに法人のグループホームや幼稚園などがある高台の住宅地にあり、周囲は自然環境に恵まれている。職員は、利用者一人ひとりの能力を活かしながら、家族同様に見守り、支援している。利用者も、恵まれた環境のなかで、調理の準備や片付けなど、能力に応じた役割をもち、地域の清掃活動や行事に参加したり、幼稚園児と日常的に交流するなど、利用者それぞれのペースで、和やかで、ゆったりした生活を送っている。また、事業所では、掃除の清掃パート職員を雇用するなど、ケアを最重視する体制づくりにも取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝のミーティングや、毎月のケア会等で独自の理念の共有を一緒に取り組んでいます。	事業所独自の理念を作成し、職員は利用者に家族のように接し、地域行事に参加するなど、事業所の在り方を前向きに捉え、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	清掃活動や体操など地域の行事の情報を把握して参加している。幼稚園や学校の行事等に参加したり、地域の藤間流の皆さんがボランティアで踊りを披露していただくなど、交流している。	自治会に加入し、市・地区の広報や民生委員等から情報を収集し、行事には利用者も参加するなど地域との交流に努めている。また、幼稚園の子ども達との交流も行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	体験学習の受け入れをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	気軽に話し合える運営推進会議としており、評価の改善点等を報告したり、意見や提案は、事業所のサービスの向上に取り入れている。	運営推進会議では、事業内容や評価結果について報告し、委員から意見等が出され、家族の意見にもすぐ対処するなど、サービスの質の向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市町村職員は、運営推進会議にも毎回2名必ず参加してくれているので、気軽に相談や情報交換を交わしている。</p>	<p>運営推進会議を通じて担当職員との関係が築かれており、日頃から運営面やケアについて気軽に相談し、アドバイスを受けている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>朝のミーティング等で話し合い、職員の理解を深めるとともに、日頃より身体拘束拘束のないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関して、朝の申し送り等の機会を捉えて話し合い、職員の理解を深め、身体拘束をしないケアに努めている。日中は玄関に鍵を掛けていない。家族には拘束しないケアとそのリスクを説明し、理解いただいたうえ、外出傾向のある利用者を把握し、他の利用者の協力も得ながら、見守り、支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待がないように、職員同士で注意し合うなど、適切な対応をしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員が講習を受け、権利擁護の活用支援に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時やその後も十分な説明の時間等を作っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者の相談窓口や意見箱を設置し、家族等も気軽に話しやすい関係を築いている。	運営推進会議に、利用者や家族の代表者が出席し、意見を出しやすい関係を築いている。また、季節毎の行事には多くの家族が参加し、懇談会で出された意見や要望について、できることから対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者と管理者のみで決めることなく、職員と一緒に話し合い、運営に反映している。	ケア会議には全職員が参加しており、働きやすい環境づくりや、利用者と関わる時間を多く作るための清掃パート職員の雇用など、職員の意見が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員処遇の改善を図るため、給料のアップなど就業環境の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等に極力参加できるよう支援し、ケアの質を高めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内グループホーム連絡会で、2カ月に交流し、サービスの向上に活かしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期には不安の解消など対応しながら信頼関係を作っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族と入居前に時間を作り、色々と関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時必要としている事を見極め、職員と連携して対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に支え合って暮らして行けるように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族にも気軽に連絡してホームに来てもらいながら、良い関係を築くようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人宅や利用者の行きたい所など（住んでいた家等）、定期的に訪問している。	利用者のこれまでの関係を把握し、馴染みの美容院に行ったり、ドライブがてらに自宅や知人宅に立ち寄るなど、関係が途切れることのないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者同士でホールでの席を隣りにする事で、お互いがいたわり合い生活している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>これまでも家族等との関係を築いているので、必要に応じて相談にのるなど、馴染みの関係が出来ている。</p>		
<p>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人のペースを大切に一日一日の暮らしを支援している。（食事時間や入浴等）</p>	<p>これまでの生活歴や職歴、楽しみ事を把握し、日常の会話や表情から、利用者の意向を汲み取っている。意思疎通が困難な利用者は、家族等から情報を得ている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>これまでの生活歴や畑仕事や買い物等馴染みの支援に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>心身状態を把握して、本人の残存能力を最大限引き出すよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の意向を汲み取り、家族とは面会時や電話で、毎月のケア会で話し合いを持ち、適したケアプランを作成している。</p>	<p>計画書には、利用者や家族の意見、意向が反映されている。3カ月ごとにモニタリングを行い、必要に応じて1ヶ月ごとにカンファレンスも行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>朝のミーティング等で話し合い情報を共有しながら毎日のケアに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状態の変化に対応して随時職員間で話し合い、家族等に連絡して、面会してもらう等、柔軟な支援を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>警察の定期的な巡回や、散歩等、お店の前を通ると、声など掛けてくれるなど、地域とともに支えていく関係ができています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族が希望するかかりつけ医に受診している。診察結果について家族と連絡を取り合い、信頼関係ができ、職員間でも共有している。</p>	<p>利用者や家族が希望するかかりつけ医に受診できるよう支援している。通院介助は職員が行っている。また、ほとんどの利用者は協力病院の往診と訪問看護を利用しており、受診結果について家族に連絡している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎週の訪問看護師に、一人ひとりの体調の変化を相談して、早めの対応をとっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>家族、医師、事業所で話し合いを持ち、治療方法や日数的なことなど、病院と情報交換をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階から家族等と十分納得するまで話し合い、地域の病院や他の施設等に相談して支援している。</p>	<p>看取りに関する方針は作成しているが、現段階では、病状に変化があった場合は、家族と相談して地域の病院や施設に移るよう対応している。</p>	<p>看取り等の支援について、事業所でできることなど、継続して家族に説明し、方針を共有するとともに、医療機関との連携や体制づくりを検討することを期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	全職員が対応出来るようにしている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	地域の人にも参加してもらい、避難訓練等を定期的に行っている。	消防署の指導や地域住民の参加を得て、年2回の避難訓練を実施している。また、職員提案により、夜間体制での避難訓練をケア会議の後で行っている。非常用の食料等は準備しているが、消火器の定期点検ができていない。	消火器の設備点検を定期的に行い、非常時に備えて万全を期する取り組みを期待したい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	特に、自尊心に配慮して、声掛け等、丁寧な対応に心掛けている。	日々のケアにおいて、声かけや介助の場面で、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重し、職員同士で話し合うなど対応している。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	献立やおやつ等、食べたい物を利用者全員に聞いたり、衣服等、本人に決めてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人に今日は何がしたいか聞きながら、本人のペースで支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服や化粧等をフォローして、その人らしい身だしなみやおしゃれの支援に努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや本人の好物を把握して、皆で食事を共にし、野菜の千切りや後片づけ等、一緒に行っている。	食材の買い物は2日に一回行っており、メニューは利用者の希望を聞きながら決めている。利用者は、調理の下準備や盛り付け、後片付けなど、できる範囲で行い、職員も利用者と一緒に同じものを食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は特に気に掛けて職員同士で把握し、水分量はチェック表にて確認して、確保に心掛けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に声掛けして行っている。拒否したり、出来ない方は職員が介助している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	一人ひとりの排泄パターンを把握して、紙おむつ等使わないよう、1日を通して定期的なトイレ誘導を心掛けている。	排泄パターンを把握し、時間や表情を見ながらトイレで排泄するよう誘導し、オムツを使用しないよう排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	食物繊維の摂取や運動に心掛け、なるべく薬に頼らない対応をとっている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	浴槽を保温して、夜遅くても入浴出来るように対応している。	風呂場に暖房設備もあり、夜間入浴も含めて、利用者の希望に応じて入浴できるよう支援している。入浴を拒否する利用者には、声かけの工夫などしながら支援し、週に1回は入浴するようにし、その間は清拭等で清潔を保っている。	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	本人の状態を把握して、寄り添うケアを心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は副作用等把握出来るよう、利用者一人ひとりの表にまとめて用法等が分かるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割分担や本人の好きな事（カラオケ、ドライブ等）を支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は本人の行きたい所に行っている。地域のお店にも行っている。（喫茶店等）	地域の喫茶店に全員で出かけたり、家族と一緒に定期的に外出している。利用者も外出を好み、週に2～3日回はドライブに出かけている。車椅子利用者も同様に遠出を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持は自由に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者の電話の希望があれば、かけるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>刺激を少なく、季節の花や、折り紙等で季節の物を作ったり工夫している。</p>	<p>クリスマスの飾りつけも落ち着きのある配慮や、花を活けるなど季節感を採り入れ、ゆったりくつろげる空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>本人同士が過ごせる場所がある。（玄関の椅子やソファ等）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自室には本人の好きな物や使い慣れたものを持ち込んでいる。</p>	<p>利用者がこれまで使い慣れた家具や馴染みの品物を持ち込み、家庭の延長生活として、利用者が居心地よく過ごせる環境づくりの工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の残存能力を活かしたケアを実践している。</p>	/	/

V アウトカム項目		ユニット名： 第二日紅の家	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない